

041116 全肢代表者研会長挨拶

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会長 東京都立多摩桜の丘学園校長の伴光明でございます。

令和四年度第二回代表者研究協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は文科省初中局視学官併任特別支援教育課調査官である菅野和彦様をはじめ、数多くのご関係の皆様にご参加いただきます。厚く御礼申し上げます。

今年度ここまで各地区における研究協議会の開催まことにありがとうございます。全肢 P 連との共催である北海道大会も含め、コロナ禍にあってもできることを工夫して行う、困難を克服しようとする肢体不自由教育の真骨頂が発揮されたものと思っています。特に北海道大会は、私は東京からの参加でしたが、主管校である北海道手稲養護学校の鎌田校長先生のご尽力の下、教頭先生が大活躍をされた姿をたいへん頼もしく拝見いたしました。学校、地区を挙げてのお取組みに心より敬服いたします。

12月に本大会を迎えるプレゼンカップ・ミラコン地区大会の開催にあたりまして、多数の応募、選考とご苦労が多かったことと思います。児童生徒の活躍の機会を広げていく素晴らしい大会に成長していますので、12月に行われる本大会を全国で盛り上げていただければ幸いです。

本日は姫路市立書写養護学校からオンラインで全国の皆様とつながっております。

書写養護学校の中川校長先生をはじめとするスタッフの皆様、そして明日の全肢研をご準備頂いている兵庫県の校長先生方のご苦労に思いを馳せ、感謝と共に今日明日を過ごしたいと思っております。ご参加の理事・評議員等の校長先生方には、兵庫大会が盛会となりようご支援をお願い申し上げ、挨拶といたします。

校長研修の部

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会長 東京都立多摩桜の丘学園校長の伴光明でございます。

校長研修会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

全国の校長先生方、お忙しい中のご参加誠にありがとうございます。当年度の教育活動も半ばを過ぎ、新年度の教育課程編成や人事、予算に向けた動きも始まっている頃とお察しします。学校のトップである校長先生は、大事から小事まで、なにかとご苦労が多い時期でしょう。本日の研修では目下の課題、中長期的な課題解決へのヒントを得られるものと思います

ので、どうぞよろしく申し上げます。

本日は、医療的ケア児支援法の施行以降、一段と高まる学校における医療的ケアへの関心を受け、肢体不自由特別支援学校における医療的ケアの状況をお二方の校長先生からご報告いただきます。同法は小学校、中学校等をも包括する内容であります。先駆的に取り組みを進め、実態として医療的ケアのある児童生徒が多く在籍する私たちの学校がどのように医療的ケアを推進していくか、大きな経営上の課題と認識されている校長先生も多いことでしょう。多くのご示唆をいただくとともに、忌憚のない意見交換をお願いいたします。

医療的ケアについては各地で学校看護師が活躍しておられます。その中で、さる11月9日、令和4年度ねむの木賞の表彰式が常陸宮殿下ご臨席の下で行われ、京都府立向日が丘支援学校の東光代看護師が受賞されました。長年にわたる学校における医療的ケアへの尽力、地域全体への貢献が評価されての受賞と伺っております。受賞につながったのはご本人のご努力もさることながら、ご所属の校長先生の熱心なご推薦があったからこそです。向日が丘支援学校の平岡校長先生にも拍手を送りたいと思います。

全肢長は、児童・生徒の活躍を社会に発信するとともに、日ごろの指導・支援に力を尽くす教職員に光を当てる取り組みも推進していきたいと願っています。どうぞ今後ともよろしくをお願いいたします。

この研修に先立って行いった代表者研でも申し上げましたが、本日は姫路市立書写養護学校からオンラインで全国の皆様とつながっております。

書写養護学校の中川校長先生をはじめとするスタッフの皆様、そして明日の全肢研をご準備頂いている兵庫県の校長先生方のご苦勞に思いを馳せ、感謝と共に今日明日を過ごしたいと思っております。全肢研の全国への配信は12月になりますが、校長先生方には多くの教職員が視聴し、兵庫大会が盛会となるようご支援をお願い申し上げ、挨拶いたします。

令和4年11月16日